学校番号	211

令和５年度　地歴･公民科

教科	地歴･公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共 （実教出版）						
副教材	最新　公共　資料集2023 （第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ

公共を学ぶ上で大切にしてほしいことは、世の中の動きに関心を持つことです。変化の激しい現代の社会の中で「なぜそういうことが起きるのか？」「どうすれば解決できるのか？」という視点を持って，ニュースなどを見て，考えてほしいと思います。そのために，この授業では，基本的な仕組みや考え方を具体的な事例で学習していく予定です。そのなかで，多面的･多角的に疑問をもって物事を見る力をつけてほしいと思います。

２　学習の到達目標

(1)現代の諸課題を捉えて考察し、その概念や理論について理解し、諸資料から必要たる情報を適切に調べまとめる技術を身につける。（知識･技能） (2)諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的･多角的に考察し、公正に判断する力を身につけ、自らの構想をもとに議論する力を養う。（思考･判断･表現）
(3)諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、より多面的･多角的な考察を通して、公民としての人としての在り方や生き方の自覚を深める。（学びに向かう力、人間性等）

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：知識･技能	b:思考･判断･表現	c;主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会における基本的な問題と人間のありかた生き方とに関わる基本的な事がらや学び方を理解し，その知識を身につけている。	考察･選択･判断のための手掛かりとなる概念･理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付け，諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的･多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	小テスト，定期考査 学習課題の提出	小テスト，定期考査 発表･報告 行動の観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業への取り組む態度 行動の観察 グループワークなど
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に分配し，評価します。			

4. 学習の活動

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
一学期	第1編　公共の扉				
	第1章 社会を作る私たち 1. 生涯における青年期の意義 2. 自己形成の課題(1) 3. 自己形成の課題(2) 4. 職業生活と社会参加 5. 伝統・文化と私たち	a.人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 b.自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 　自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 c.社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現させる。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど
	第2章 人間としてよく生きる 1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間	a.古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 　選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b.環境保護や生命倫理に関する事例をもとに，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに，行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが，よりよく生きていく上で重要であることにつ	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
		いて理解している。 　人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 c.幸福，正義，公正などに着目して考えている。 　公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 　倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。			
	第3章 他者とともに生きる 1．人間と幸福 2．公正な社会をめざして	a.人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。 　選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 b.現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して，行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが，よりよく生きていく上	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
		で重要であることについて理解させる。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けさせる。 c.倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的･多角的に考察し，表現させる。			
	第4章 民主社会の倫理 1．人間の尊厳と平等 2．自由･権利と責任･義務	a.古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，社会に参画する際の選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 　選択･判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 b.人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から，よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 c.幸福，正義，公正などに着目して考えている。 　公共的な空間でどのように生きるかについて，先哲の生き方などを参考に，人間としてのあり方生き方について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 　倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的･多角的に考察，表現している。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表･報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
	第5章 民主国家における基本原理 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度	a.各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して，人間の尊厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 b.個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理について理解させる。 c.公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現させる。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど
二学期	第2編　よりよい社会の形成に参加する私たち				
	第1章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権の広がりと公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題	a.法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解させる。 　我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるようにするとともに，我が国の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，我が国の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解させる。 b.現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 c.自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
		社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。			
	第2章 日本の政治機構と政治参加 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加	a.司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解させる。 政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。 b.現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 c.自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
	第1章 現代の経済社会 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題	a.雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実･安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 b.現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 c.自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表･報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど
三学期	第2章 日本経済の特質と国民生活 1. 戦後日本経済の成長と課題 2. 転機に立つ日本経済 3. 経済社会の変化と中小企業 4. 農業と食料問題 5. 消費者問題 6. 公害の防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. 今日の労働問題 9. 社会保障の役割	a.多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実･安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 b.現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 c.自立した主体として解決が求められる	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表･報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
	10. 社会保障制度の課題	具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。			
	第1章 国際政治の動向と課題 1. 国際社会と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. こんにちの国際政治 4. 人種･民族問題 5. 軍拡競争から軍縮へ 6. 国際平和と日本の役割	a.国家主権，領土(領海，領空を含む。)，我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり，国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。 b.現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 c.自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表･報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど
	第2章 国際経済の動向と課題 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 地域的経済統合の進展 5. 国際経済のつながりと課題 6. 発展途上国の諸	a.経済のグローバル化と相互依存関係の深まり(国際社会における貧困や格差の問題を含む。)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，世界経済がより緊密に結び付き，経済活動が世界的な規模で自由に行われていること，一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど，国際社会において相互依存関係が一層深まっていること，国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。 b.現実社会の諸課題に関わる諸資料か	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表･報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど

	学習内容	単元（題材）の評価基準	評価方法		
	単元名		a	b	c
	課題と日本の役割	ら，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けさせる。 c.自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現させる。			
	第３編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	a.地域、国家、社会の構築のためのわが国の現状と課題を考察させ、理解させる。 b.地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述させる。 c.この科目のまとめとして位置付け，社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに，第1部及び第2部で扱った課題などへの関心を一層高める。 　個人を起点として，自立，協働の観点から多様性を尊重し，合意形成や社会参画を視野に入れて探究する。	小テスト 定期考査 学習課題の提出	小テスト 定期考査 発表・報告 行動観察 グループワークなど	学習課題の提出 授業へ取り組む態度 行動観察 グループワークなど